



# くぼたつ

久保田達也(くぼた・たつや): 冒険家、NAPU大学名誉人文学博士、ラシモア大学教授、工学院専門学校インターネット科特別講師、日経新聞ビジネスセミナー常任講師。

## 考える人、くぼたつのアイデア創造論 ある企画マンが大きくなるまで

今月はある企画マンの体験記を紹介する。

20歳代半ばのA君はある日、「世の中にはモノがあふれすぎている。モノつくりのオレはどうすればいいんだ」と考えた。結論は「モノを買わずに自分で創ればいい!」だった。そこでみんなが何かを創るときに必要な道具、つまり文房具の商品開発をしようと思いついた。「でも、なぜ万年筆で文字を書けるんだ?」インク、毛細管現象、紙の上の表面張力。それ以上の科学的知識は皆無だった。そこで、彼は独自に「文房具百貨辞典」なるものを編集し始めた。

それから半年経ったころ、とある出版社が同類の本を出すというので、彼はその資料を全部寄贈した。その見返りに、出版社は文房具メーカーのT社に彼を紹介してくれた。一度サラリーマンをやってみたかった彼は、企画部に入ることを決意した。その会社の体質は旧態然としていて、何をやるにもはじめに会議ありき。社員を総動員する大営業会議で紹介された彼は開口一番、「100円シャープを出してはいかがでしょう」とやった。場内はシーンと静まり返る。やがて、営業本部長が真っ赤な顔をしてこうのたまった。「なにをぬかすかあ! わが社は鉛筆メーカーの老舗ぞ。そんなもの作ったら鉛筆メーカーではなくなるではないか。この馬鹿ものが、喝ッ!」

翌週の会議で彼は懲りずにこう言って返した。「しかし他社が発売したらどうする? 鉛筆はいずれ売れなくなる。今度は本部長は真っ青になって「ばか者、うちは老舗だぞ、なにをいっとるんだ、たわけッ!」とわけのわからないことをどなった。

それでも彼は試行錯誤を繰り返しながら100円シャープを1人で創り続けた。会社というところは何事も1人で勝手にやってはいけない決まりがあるようで、彼はいつしか隅っこに追いやられるようになった。納屋のような小部屋で万力とナイフで試作モデルを創ったり、知り合いの業者さんから知恵を拝借したり、細々と研究を続けた。

3か月経ったある日、突如、Sデパートから取引停止の通達があった。社内は右往左往の大騒ぎ。「鉛筆売り場を縮小して100円シャープを置く」というのだ。彼は社長室に呼び出され、「100円シャープはできているか」



と鬼の本部長に聞かれた。「はい」と答えると同時に、まるで拉致されるかのように車に乗せられ、SデパートのT社長に面通しされた。そこで本部長は床にひれ伏しこう叫んだ。「しゅいませんでしたあ〜。当方も100円シャープは開発しておったのですが、こやつが隠しておりまして。なにとぞ売り場縮小はご容赦のほどを」社長は横で泣き始める。「あんだけオレをののしっておいて、なんだよあ。でも、おまえ演技うまいなあ」と彼は思った。実は、SデパートのT社長は彼のことを知っていた。何を隠そう、彼は3年程前にSデパートのフロアマネージャーを務め、伝説の年間売上記録も持っていたのだ。T社長は言った「わかった。3か月以内に納品してくれ、もちろん、これは無理難題だ。プロトタイプから商品にするまでには最低でも6か月はかかる。御仁はなんにもかも知っていてそう言ったのだ。

「どうだ俺が会社を救ったぞ」本部長は勝ち誇ったように凱旋した。かくしてやっかいもの扱いだった彼は、いきなり予算はもらえるわ、好き勝手させてくれるわで、突然、王子様扱いになってしまった。いやがる下請けをねじ伏せてなんとか納品までこぎつけたが、あまりに急いだために初回ロットは10本中、5本が不良品だった。デパートには鬼の検品システムがあり、欠陥商品は出入り禁止だ。翌日には1000本納品しなければならない。選ぶ余裕はなかった。かくなる上は玉砕だと当日そのまま検品室に突入。固唾を飲むなか検品が始まると、ほとんどがズブッと芯が引っ込んでしまう欠陥品だった。万事休す。その時、K検品部長は「どうも体調がすぐれんので、検品は来週にするからまた来てくれ」と言った。彼は事情を知っていたのだ。鬼の目にも涙だ。「世間はまんざらでもねえ。もの創ってよかったぜ」彼はそう思った。

企画マンはそうやって鍛えられてきた。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)